

1. 科目名（単位数）	文章表現（2単位）	3. 科目番号	GELA1107
2. 授業担当教員	沼澤 清一		
4. 授業形態	講義、グループワーク、演習（論作文）、発表	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	大学での講義及び演習（ゼミ）では、レポートを書いたり発表したりという表現力が要求される。この授業では、大学での学習や研究に必要な「書く」技術の基礎訓練を行うことをねらいとしている。 したがって、目標とされるのは、文学的表現や美文調の修辞等ではなく、むしろ簡潔で明快な文章の表現法である。文法・文字表記の正しさ、語彙選択の適切さ、表現の的確さ、わかりやすさ、文章構成の明確さ、論理の一貫性などに重点をおいて学習する。 本科目の授業を通じて表現力やコミュニケーション能力を養うことは、大学段階にとどまらず、今後の社会でますます重要となってくるものであることを認識する必要がある。		
8. 学習目標	以下について学習・理解し、レポート・論文が書けるようになることを学習目標とします。 1 コメントペーパーやレポート・論文等の書き方に関する基礎的・基本的事項を理解し説明できるようになる。 2 わかりやすい言葉（表現方法）で、明瞭で論理的な文章を書く技術を習得する。 3 実践的な訓練を通して、自分の考えや意見を論理的に述べる文章表現力を身に付ける。 4 定評のあるオピニオン誌の論文や新聞の社説などに触れ、現実の捉え方やものの見方を学ぶ。 5 文章の読解力と文章の構成力を養い、文章表現に対する苦手意識を払拭する。		
9. アサインメント（宿題）及びレポート課題	1, レポート課題 （1） 毎時間のリアクションペーパー （2） 説明・報告型レポートの作成 （3） コメントカードの作成		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 石井一成『ゼロからわかる大学生のためのレポート・論文の書き方』ナツメ社、2023 年		
11. 成績評価の基準と評定の方法	○成績評価の基準 1. コメントペーパーやレポート・論文等の書き方に関する基礎的、基本的事項を理解しているか。 2. 分かりやすい表現方法や明瞭かつ論理的な文章を作成する力がついたか。 ○評定の方法 授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。 1 積極的態度（発言、討議、発表、取り組み等） 総合点の40％ 2 レポート（小課題・コメントペーパー等を含む） 総合点の60％ 上記の他に、本学の規定に定められている3／4以上の出席が単位の取得条件であることも配慮する。		
12. 受講生へのメッセージ	「レポートって、どうやって書くの?」「そもそも作文とどこが違うの?」大学生活は悩みの中からスタートします。本授業は、大学生として必要なレポート作成を初めて体験する皆さんを対象にした授業です。論文の作成方法について、段階を追って具体的に、ていねいに解説していきます。友達と意見交換をしながら共に学んでいきましょう。		
13. オフィスアワー			
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	シラバスの説明、グループ内での「自己紹介」 科目のガイダンス（授業の進め方・グループ編成等）	事前学習	自己紹介（30秒程度）の準備をしておく。
		事後学習	授業で確認したことを振り返っておく。
第2回	レポートの基礎・基本 ・「レポート・論文」と「作文」の違い ・レポートの種類 ◇「学び」レポート	事前学習	高校までの作文についてその形式を振り返っておく。
		事後学習	レポートの種類について分類し、その形式をまとめる。
第3回	◇大学レポートの書き方 ・コツと例文を紹介 ・「リアクションペーパー」の書き方	事前学習	前時に書いた「学び」レポートについて振り返っておく。
		事後学習	「リアクションペーパー」の書き方について確認する。
第4回	◇文章の書き方 論文にふさわしい文章にするには	事前学習	前時までの学習を振り返っておく。
		事後学習	論文にふさわしい文章についてまとめておく。
第5回	◇文章の書き方 ・文末表現 ・読みやすい文章を書くために	事前学習	前時の学習を振り返っておく。
		事後学習	論文の書き方について、第4回・第5回目の授業を振り返っておく。
第6回	■説明・報告型レポートの作成① ・パラグラフ形式 ・模範形式に沿って作成	事前学習	教科書の模範形式を確認しておく。
		事後学習	パラグラフ形式を確認して、次週までの課題を作成する。
第7回	■説明・報告型レポートの作成② ・模範形式に沿って作成	事前学習	作成した課題を読み返し確認する。
		事後学習	次週までの課題を作成する。
第8回	■説明・報告型レポートの作成③	事前学習	作成した課題を読み返し確認する。

	・模範形式に沿って作成 ・「はじめに」の書き方	事後学習	「はじめに」の意味づけ、作成方法について資料をもとにまとめておく。
第 9 回	■説明・報告型レポートの作成④ ・模範形式に沿って作成	事前学習	作成した課題を読み返し確認する。
		事後学習	作成した課題を読み返し確認する。
第 10 回	■説明・報告型レポートの作成⑤【印刷し提出】 ●グループに分かれて読み合い、コメントカードへ記入 - 友達のコメントカードを参考にレポートの修正箇所を記入	事前学習	完成した課題を読み返し印刷する。
		事後学習	修正箇所の確認を行う。
第 11 回	■説明・報告型レポートの作成⑥ ・添削を受けたレポートとコメントカードをもとに最後の修正	事前学習	資料を整理して授業に臨む。
		事後学習	修正後のレポートを次回の授業までに提出する。
第 12 回	◇敬語 ・敬語の復習	事前学習	高校までの「敬語」の学習を振り返っておく。
		事後学習	「敬語」についての学習をまとめる。
第 13 回	○物語文の作成 ・「夏の思い出」を自由形式で書く	事前学習	自分の体験を項目ごとにまとめておく。
		事後学習	論文と物語文のちがいについて、自分の言葉でまとめる。
第 14 回	◇謙譲語 ・謙譲語の復習	事前学習	高校までの「敬語」の学習を振り返っておく。
		事後学習	「敬語」についての学習をまとめる。
第 15 回	文章表現の成果発表 ～説明・報告型レポートを紹介しよう～ 多くの友達のレポートを読み、その良さと取り組みから学ぶ。	事前学習	完成したレポートの最終点検を行う。
		事後学習	全 15 回の授業を振り返り、レポート作成についてまとめる。